

令和2年度鹿追町財政健全化及び経営健全化審査意見書

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、令和3年8月1日審査に付された令和2年度鹿追町財政健全化及び経営健全化について審査した結果、次のとおり報告します。

令和3年8月31日

鹿追町長 喜井知己様

鹿追町監査委員 野村英雄

鹿追町監査委員 埴渕賢治

審査の概要

1 審査の対象

(1) 財政健全化判断比率

- ・実質赤字比率
- ・連結実質赤字比率
- ・実質公債費比率
- ・将来負担比率

(2) 資金不足比率

- ・国民健康保険病院事業会計
- ・簡易水道特別会計
- ・下水道特別会計

2 審査の期間

令和3年8月2日から令和3年8月31日まで

3 審査の方法

財政健全化審査及び経営健全化審査について、町長から提出された財政健全化比率及び経営健全化比率、算定の基礎となる書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

4 審査の結果

審査に付された財政健全化比率及び経営健全化比率並びに根拠となる資料は、いずれも適正に作成されていると認める。

なお、審査に付された比率については、次のとおりである。

項目	令和2年度	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	—	20.0%	30.0%
実質公債費比率	10.3%	10.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	2.6%	350.0%	

実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率が算定されない場合は「—」と表示。

指標	特別会計名	令和2年度	令和元年度	経営健全化基準
資金不足比率	国保病院事業会計	－	－	20.0%
	簡易水道特別会計	－	－	
	下水道特別会計	－	－	

資金不足額がない場合は「－」と表示。

総括

財政健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率においては黒字決算のため表示は無い。

実質公債費比率では前年度比0.2%減少し、健全である。

財政状況は、指数的には基準内であるが、多面的に検証を行う等、財政構造の健全化に努めるよう切望する。

経営健全化（資金不足）比率

各会計とも黒字決算であり、資金不足が無いため表示は無い。

一般会計、特別会計とも基準値を下回っている。

一連の判断比率は即時財政に影響するものではないが、健全化判断比率等各財政指標を分析し、適正な財政状況を維持できるよう努めてほしい。